



令和 6 年 11 月 26 日 (火) 例会 (第2926回) 報告 (雨) No.2754

出席率 …… 33/39 84.62% 第2924回補正出席率 …… 30/38 78.95%

欠席者 瀬戸、中村、平岡、堀田、三輪、村山
メイクアップ (夜話集会11/18~22) 31名 (インフォ) 3名
出席免除 足立、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 酒井博淳 会長

茨城県に「サザコーヒー」という地域密着型の喫茶店がある。「世界最高のコーヒーを生産する」といわれるパナマのエスメラルダ農園栽培の「ゲイシャ」という品種は、世界最高のオークション価格を記録したコーヒー豆と言われている。特有の鮮やかでフローラルなアロマが際立ち、現在も国際オークションで高い評価を得ている。「ベストオブパナマ2022」で優勝したゲイシャコーヒーを、「サザコーヒー」が世界最高価格の1ポンド(コーヒー約30杯分)あたり約28万円で落札した。コーヒー1杯2万円。翌年の落札価格は1ポンドあたり約68万円。1杯5万円という。

◆幹事報告 友森昌幸 幹事

◎榊原G事務所より「カルガリー国際大会案内」「行動計画推進リーダー第2回Zoom研修案内」他 ◎米子東RCより「5RC合同例会案内」◎石倉直前G事務所より「地区活動報告書」◎本日、臨時理事会(書面決議)◎次週は例会後「12月定例理事会」

◆臨時理事会報告 友森昌幸 幹事

【議題】①新入会員推薦(石黒氏)[審議]→承認 ②新入会員推薦書の全会員への通知方法[審議]→メールと郵送の併用を承認(本日の推薦通知から実施) ③第35回市民余芸大会後援依頼[審議]→名義後援を承認

◆四つのテスト唱和 松本勝志 職業奉仕委員

出席表彰
連続20年 黒田 耕
連続9年 瀬戸良三 各会員



黒田会員

11月創立記念日祝い
21日 村山尚史 29日 岡空晴夫 各会員



岡空会員

ポリオプラス・ソサエティ (PPS) 登録証&ピンバッジ交付
酒井博淳、松本正 各会員



退会挨拶 吾郷 悟 会員
次週、新会員卓話をする予定でしたが急に異動が決まりました。新天地では新しく勉強が必要な事も多く、当RCのOBである安喰社長の元で頑張ります。大変お世話になり有り難うございました。



◆委員会報告

— スマイルBOX —

◎出席表彰 黒田 ◎創立祝 岡空 ◎卓話させていただきます。ありがとうございます。清水 ◎清水さんの新会員卓話、楽しみです。酒井(博)、上田、川田、喜多村、小藤、小林、定秀、島谷、庄司、谷田、赫、北國、山崎、鷺澤 ◎今日はSAAです 北國 ◎ポリオプラス・ソサエティ登録証を頂きました 松本(正) ◎大変お世話になりました! 吾郷 ◎吾郷さん、お世話になりました。小坂 ◎気づけば今年も残すところあと少し。おせちのご準備はお済みですか? チランをお配りさせていただきました。宜しくお願ひ致します。浜田(貴) ◎スマイルに協力 酒井(英)、佐藤、中田、松本(勝) 今年度計 291,000円(48.5%/目標60万円)

◎親睦委員会…松井尚成 委員長
例会後に委員会を行いますので親睦委員の方はご出席願います。忘年家族会の出欠メ切…11/29(金)。お早めにご提出下さい。

◎ゴルフ同好会…岡空晴夫 幹事
11月コンペは山崎会員の優勝!次は12/15(日)。同日夜は野球同好会と合同忘年会。来年4/23(水)東京調布RCからコンペのお誘いが来ています。詳細はまた後日お知らせします。

◆12月行事予定 (疾病予防と治療月間)

12/10(火) 例会/年次総会
17(火) 忘年家族会 (18:30~ ANAクラウン米子)

— プログラム — 「新会員卓話」

清水俊和 会員

NX境港海陸(株)の清水です。よろしくお願ひいたします。



11月4日に東京で「中国横断自動車岡山米子線(蒜山IC-境港間)整備促進総決起大会」が開催され、境港商工会議所の運輸通信部会の代表として、民間企業の立場から意見発表の為に出席して参りました。米子-境港間を国道431号線ではなく、高規格道路で縦断することがいかに必要かということ、運輸業の立場から具体的な事例をもとにお話いたしました。

現在、弊社グループをはじめ数社の同業他社様によって、境港で年間約150万トン輸入される木質チップを、境港から米子の製紙工場まで毎日延べ150台~180台のトレーラによって国道431号線を往復運行しています。特に米子市のけやき通り周辺の国道431号線添いには大規模小売店や飲食店が集中しており、左折して店舗に入る一般車が多く、キープレフトで走行しているトレーラはストップ・アンド・ゴーの繰り返しとなり、境港・米子間の平均速度は30km/h以下となります。その為、乗用車なら片道30分程度の道を、片道45分から1時間かけての運行を余儀なくされている状況です。もし、高規格道路が完成すれば、平均50km/h程度で走行できるものと考えますと、1日の運転時間が一人当たり数時間短縮できることとなり、これは運輸業にとっては画期的なことで、2024年問題における時間外規制等への対応も必ずや成し遂げられると確信しています。

高規格道路の実現とともに 一方で中海・宍道湖・大山圏域の8の字ルートの整備も計画されていて、最終的には8の字ルートによって両県の発展を牽引し、地方創生をリードすることが目標になっているとのこと。

高規格道路は人命最優先道路といっても過言ではありません。今年発生した能登半島地震でも、大規模災害発生時、ネットワークが寸断されれば復旧・復興どころではありませんでした。私の経験からも東日本大震災の時、東北自動車道があったから緊急支援物資を輸送できました。こうした経験からも、境港-米子間に信頼性の高い高規格道路をぜひとも完成させていただきたいということを話して参りました。

今回(12月3日)のプログラム

「ポリオ根絶に向けて」(DVD鑑賞)

2023-24年度会長エレクト研修(PETS)資料

次回(12月10日)のプログラム

年次総会 / 「東京調布RCとの友好クラブ締結報告」

友森 昌幸 幹事